

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院睡眠呼吸器科および臨床生理検査部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分あるいはご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2009年1月5日 ～ 2012年4月27日の間 に簡易睡眠検査（アプノモニター）およびホルター心電図の2つの検査を受けられた方。

【研究課題名】

睡眠呼吸障害と Heart rate turbulence 鈍化の関係について

【研究の目的・背景】

《 目的 》

Heart Rate Turbulence（以下HRT）と睡眠呼吸障害の重症度の関連性について検証します。

《 研究に至る背景 》

- ① HRTの原動力になっているのが血圧の維持を司る圧受容体反射とされています。
- ② 重症の睡眠呼吸障害は虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）や心不全の発症のリスクであり、圧受容体反射も低下していることがわかっています。
- ③ この関係からHRTと睡眠呼吸障害の重症度の関連性が推察できます。

《 付記：HRTについて 》

HRT現象は心室期外収縮（不整脈の一つ。健常者でも1日10回ほど出現します）の直後に脈が少し速くなり、またすぐに元の心拍数に戻っていく現象です。これは生理的に健常者で見られる応答ですが重症の心筋梗塞患者などで、この反応が著しく減弱（鈍化）しています。このためHRTは心筋梗塞をはじめ、心疾患の予後を推定するマーカーの1つとされています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年5月11日 ～ 2018年12月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院臨床生理検査部、菊地隆司 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

本研究で用いられる資料や診療情報を虎の門病院外へ提供することはありません。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、ホルター心電図、簡易睡眠検査（アプノモニター）
薬歴など

【研究代表者】

虎の門病院 ・ 臨床生理検査部 ・ 石綿清雄

【虎の門病院における研究責任者】

臨床生理検査部 ・ 石綿清雄

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身またはご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身またはご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 臨床生理検査部 ・ 菊地隆司
電話 03-3588-1111(代表) (内線 3511)